

平成 30 年度 第 1 回広報委員会報告

日時：平成 30 年 5 月 18 日(金)11:00-13:00 TKP 東京駅前カンファレンスセンター5A

東京都中央区八重洲 1-5-20 石塚八重洲ビル ☎03-3457-79266

出席者：内山量史, 大野重雄, 斉藤秀之, 川本愛一郎, 槌田義美, 増岡薫子, 横串算敏

[三輪書店] 高野裕紀, 大島 登, 木次谷 僚

【議 題】

1. 報告事項

- 1) H29 年度第 5 回理事会議事録
- 2) H30 年度第 1 回拡大三役会議 (H30-4-13/八重洲倶楽部)
- 3) 協会誌編集進捗状況

協会誌 165 号 (H30/4 リハ・ケア久留米特集)

- (1) 巻頭言 (井手睦先生)
- (2) 特集-① 基調講演 (佐伯覚先生) 「脳卒中リハと社会参加」, ② 主催団体シンポジウム (全国デイ・ケア協会『通所リハと通所介護が地域で協働するために』), ③ 特別企画シンポジウム (回復期リハ協会・日本リハ看護学会『回復期リハ協会と日本リハ看護, 学会からの提言』), ④ 主催団体シンポジウム (日本訪問リハ協会『どんどん訪問しよう』), ⑤ 主催団体シンポジウム (全国地域リハ支援事業連絡協議会『地域リハ支援体制の再構築』), ⑥ 主催団体シンポジウム (全国地域リハ研究会『地域リハ活動支援事業の実践』), ⑦ 特別企画シンポジウム (『リハ・ケアの見える化による質の改善
- (3) 編集後記 (斉藤委員)

協会誌 166 号 (H30/5 春号)

- (1) 巻頭言 (新会長就任にあたって: 斉藤正身先生)
※前会長退任のご挨拶: 栗原正紀先生
 - (2) 特集-①第 1 回研修会 (H29-12-9): シンポジウム [同時改定に向けたリハ医療関連団体協議会の取りまとめの報告と解説: 医療リハビリテーションの立場から (リハ全般、急性期)] (大井先生), ②第 2 回研修会 (H30-3-10): 基調講演概要報告/研修委員会 (梅津先生), 基調講演 3 (近藤先生), シンポジウム概要 (横串委員長), 澤村名誉会長講演要旨 (横串委員長)
 - (3) 報告-①H29 年度第 5 回理事会 (H30-2-16), H30 第 1・2 回理事会, 総会 (H30-5-18) (担当: 横串委員長), ②回復期リハ研究大会岩手報告 (大井先生), ③全国地域リハ支援事業ブロック大会大分報告 (佐藤浩二先生)
 - (4) 病院・施設紹介 (慈啓会病院, 神戸リハ病院)
 - (5) コラム-①「好日」第 6 回 (全国身体障害者施設協議会), ②「私の備忘録」第 10 回 (岡本五十雄先生), ③「ありのままのこころ」 (岡本五十雄先生)
 - (6) 潮流を読む (大野副委員長)
 - (7) 編集後記 (横串委員長)
- 4) 協会内病院施設調査
今年度, 病院施設調査を実施予定 (内容については今後協議する)

2. 協議事項

1) H29 年度の活動総括と H30 年度の活動方針

- (1) H29 年度の活動総括
 - ① 協会誌年間定期発行回数は 5 回 (リハ・ケア合同研究大会茨城 2016 特集号を含む)
 - ② 理事会, 各委員会活動, 研修会等の協会活動の迅速な広報, 施設調査報告は未達
 - ③ 自主企画-①「平成 30 年同時改定を前にして」POS 協会会長座談会 161 春号掲載, ②「リハ看護学会長に聞く」162 夏号掲載, ③「在宅支援リハセンター」会長・副会長座談会 163 号

④関連団体の活動紹介：学会・大会報告、「好日」

H29 年度活動の総括

160号（リハ・ケア茨城特集号）、161号（H29/5春号）、162号（H29/8夏号）、163号（H29/11秋号）、164号（H30/2冬号）を発刊し、理事会、委員会活動、研修会の内容の伝達、関連団体の活動紹介は概ね達成できた。診療報酬改定において入院料が名称の変更を含め大幅な変更があったため、病院施設調査は次年度にくり越した。

(2)H30 年度の活動方針

30 年度活動計画

(3)協会誌年間定期発行回数は5回

(165号/リハ・ケア合同研究大会久留米2017特集号、166号、167号、168号、169号)

(4)理事会、各委員会活動、研修会等の協会活動の迅速な広報

(5)施設調査報告

(6)自主企画-

①「平成30年同時改定を終えて（仮）」会長副会長座談会 7/20 予定（担当：大野副委員長）

⇒ 168号（秋）に特集掲載

意見：地域リハの観点から医療介護報酬同時改定をどう見るか、同時改定の評価と今後の課題

②「平成30年介護報酬改定を終えて（仮）」老健/通所リハ/訪問リハ関連理事座談会 12/7

（担当：内山委員、斉藤委員、川本委員）

⇒ 169号（冬）に特集掲載

意見：リハの役割（短時間リハで目標を立案して他のサービスに繋ぐ等）、退院後支援をどうするか（急性期/回復期からのソフトランディング等）

③「訪問看護」座談会（担当：増岡委員、槌田委員）

意見：在宅主治医からリハ指示書（どう指示書していいか判らないのでは？）

：訪問看護でのリハ視点（質の高いリハ・法律も含めて今の問題点は何か）
訪問看護と訪問リハの棲み分け

④協会創立30周年記念 記念誌の発刊

意見：169号（H31/2冬）を30年記念号に充てる、ネット配信やCDRで送付する、各団体にダウンロードを依頼する、製本費として、広告料や寄付を募る、節目なので製本する、獲得に繋がる記念誌として作成する、理事会に諮る

⑤リハ・ケア米子大会で協会誌1号から167号までの表紙一覧ポスター発表

⑤ 関連団体・協力団体の活動紹介：学会・大会報告、「好日」

⑥ 医療・介護制度の解説「潮流を読む」、先達に学ぶ「備忘録」

2) 協会誌編集

協会誌 167号(H30/8夏号)

(1)巻頭言（荒木暁子先生）

(2)特集-① リハ・ケア合同研究大会米子・大会長に聞く（角田賢先生）、② 委員会/新理事紹介

(3) 報告-①H30 第3回理事会、②認知症対策検討委員会『認知症対応力向上研修』、③関連団体学会報告：①日本理学療法学会茨城（浅川育世先生）、②日リハ医学会福岡（浅見豊子先生）、③日本言語聴覚学会富山（中野徹先生）、④日本訪問リハ学術集会北九州（志井田太一先生）

(4) 病院・施設紹介（竹田総合病院、大分岡病院）

(5) コラム

- ①「好日」第7回（全国高齢者ケア協会）
- ②「私の備忘録」11回（及川忠人先生）

(6) 潮流を読む（川本委員）

(7) 編集後記（内山委員）

協会誌 168号(H30/11 秋号)

(1) 巻頭言（若林秀隆先生）

(2) 特集-「同時改定の評価と今後の課題（仮）」会長・副会長対談

(3) 報告-①H30 第4回理事会，②障害児・者支援検討委員会，③関連団体学会報告：①日本作業療法学会名古屋（宮口英樹先生），②地域リハ研修会宮城（檜本 修先生），③全国デイ・ケア研究大会筑波（伊佐地隆先生），④全国介護支援専門員全国大会福岡（柴口里則先生）

(4) 病院・施設紹介（ときわ会病院・洛和会音羽病院）

(5) コラム-①「好日」第8回（全国失語症友の会連合会），②「私の備忘録」第12回(未定)

(6) 潮流を読む（横串委員長）

(7) 編集後記（槌田委員）

協会誌 169号(H31/2 冬)

(1) 巻頭言（宮田昌司先生）

(2) 特集-「平成30年介護報酬改定を終えて（仮）」老健/通所リハ/訪問リハ関連理事座談会

3. その他

第53回日本理学療法学術研修大会茨城(5/25-26)，第11回日本訪問リハ協会学術集会北九州(6/16-17)，第55回日本リハ医学会学術集会福岡(6/28-7/1)，第19回日本言語聴覚学会富山(6/22-23)，全国地域リハ合同研修大会宮城(7/7-8)，第38回全国デイ・ケア研究大会つくば(7/14-15)，第12回全国介護支援専門員協会全国大会福岡(7/13-14)，第52回日本作業療法学会名古屋(9/7-9)，第26回日本慢性期医療学会鹿児島(10/11-12)，第29回全国介護老人保健施設大会さいたま(10/17-19)，リハ・ケア合同研究大会鳥取米子(10/3-4)，第5回日本予防理学療法学会北九州(10/20-21)，第2回日本リハ医学会秋季学術集会仙台(11/2-4)，第30回リハ看護協会学術大会富山(11/23-24)

広報委員会委員（平成30年度）

担当常務理事：佐藤吉沖（医師，甲州リハ病院院長），委員長：横串算敏（医師，札幌溪仁会リハ病院 院長），副委員長：大野重雄（医師，小倉リハ病院 診療部長），内山量史（言語聴覚士春日居サイバーナイフ・リハビリ病院 言語療法部長），川本愛一郎（作業療法士有限会社リハシップあい代表取締役），斉藤秀之（理学療法士，医療法人社団筑波記念会 顧問），佐藤英雄（理学療法士いわてリハセンター 理学療法科長），槌田義美（理学療法士，熊本リハ病院 リハ部技術部長）
増岡薫子（看護師，広島市立リハ病院 総看護師長）